

淀川の洪水・高潮に備え、 「防潮扉点検操作訓練」を実施!

H29. 7. 1~7. 2

淀川河川事務所

国道2号淀川大橋、国道43号伝法大橋、阪神なんば線淀川橋梁などの橋には、洪水、高潮等により沿川地域へ被害がでないよう不足した堤防高さを補う防潮扉が設置され、沿川地域のまちを洪水等から守っています。

台風期に備え、平成29年7月1日(土)から2日(日)にかけて、平成29年度淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を実施しました。

訓練は、国道2号淀川大橋、国道43号伝法大橋、阪神なんば線淀川橋梁をはじめ8橋梁17施設で、7月2日(日)の午前1時から午前2時まで道路及び鉄道を通り止めにし、淀川河川事務所を含む28機関、約650名が参加し行われました。

淀川本川では、国道2号淀川大橋、国道43号伝法大橋、阪神なんば線淀川橋梁の陸閘(防潮扉)を閉鎖する操作訓練及び陸閘の点検を行いました。

当日は無事に訓練及び点検を実施することができ、今年も高潮等による浸水が予測された場合は、各関係機関と協力のもと、速やかに防潮扉の操作を行い、沿川地域の安全・安心を図っていきます。



伝法陸閘の閉鎖状況 1時10分頃
(国道43号 伝法大橋左岸側)

阪神陸閘の閉鎖状況 1時10分頃
(阪神なんば線右岸側)

淀川陸閘の閉鎖状況 1時10分頃
(国道2号 淀川大橋左岸側)

- 訓練の目的 防潮鉄扉の開閉に係る点検、体制の万全と、水防団員の操作技術の向上、水防意識の高揚をはかる
- 関係機関 国土交通省近畿地方整備局(淀川河川事務所・大阪国道事務所・兵庫国道事務所)、大阪府、大阪市、大阪府警、兵庫県、尼崎市、兵庫県警、阪神電気鉄道、阪急電鉄等 淀川右岸水防事務組合、淀川左岸水防事務組合 28機関
- 参加者数 約650名(水防団員含む) うち淀川河川事務所職員56名
- 訓練の実施場所
伝法陸閘(国道43号伝法大橋左右岸)、淀川陸閘(国道2号淀川大橋左右岸)、阪神陸閘(阪神なんば線淀川橋梁左右岸)
神崎大橋防潮扉、左門橋防潮扉、千船大橋防潮扉、千北橋防潮扉、阪急神戸線防潮扉、大和田船溜
- 回転式陸閘の操作訓練の様子をタイムラプス撮影しましたので、下記アドレスでご覧下さい。

・ <https://www.facebook.com/yodogawa.mlit/>



淀川右岸水防事務組合へ
局長(代理河川部長)による激励

淀川左岸水防事務組合へ
淀川河川事務所長による激励

施設点検状況(淀川陸閘)

交通規制状況(伝法4丁目交差点)

陸閘の完全閉鎖訓練は、道路及び鉄道の通行止めを伴い社会的影響が大きいため、年に一度、関係機関が連携して実施しています。淀川河川事務所では、引き続き陸閘の定期点検や関係機関と陸閘操作時の事前調整を行い、沿川のまちを守るべく『いざ閉鎖』に備え万全を期していきたいと考えています。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 管理課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10
TEL 072-843-2861

